

## 道路課

- 新規評価箇所検討一覧表（BBB 評価以上）…P1
- 新規事業概要
  - ・ 道路事業 …P2～3
- 公共事業新規評価調書（整備系） …P4～29
- 新規評価箇所検討一覧表（C 評価） …P30～34

番号	種別	事業区分	事業名	箇所名等 (路河川・地区名)	施工箇所			事業概要	評価			判断	総事業費 (百万円)	公・単	完成 予定 年度	重要施策との関連性 (他事業との関連含む)	新規評価に至った経緯
					市町名	旧市町名	町・大字 等		位置 づけ	必 要 性 ・ 効 果	実 施 環 境						
1	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全社会資本整備交付金)	中原三瀬線	吉野ヶ里町	東脊振村	石動	現道拡幅 L=960m	A	B	A	I	678	公	H33	通学路	地元要望による
2	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	国道204号	唐津市		屋形石	現道拡幅 L=323m	A	B	A	I	832	公	H33	通学路 第一次緊急輸送道路	国道204号線の整備促進期成会の要望による
3	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全社会資本整備交付金)	国道498号	武雄市	北方町	大崎	現道拡幅、交差点改良 L=380m	A	A	A	I	541	公	H34	第一次緊急輸送道路 渋滞対策プログラム	国道498号期成会の要望による
4	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全社会資本整備交付金)	国道207号	佐賀市		嘉瀬町 扇町～中原	自歩道整備 L=400m	A	A	B	I	1,040	公	H34	第一次緊急輸送道路 通学路	既設歩道が狭く歩行者と自転車が輻輳し危険であるため
5	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	武雄福富線	杵島郡	白石町	福富	簡易パーキング整備 A=4,200㎡	A	A	B	I	260	公	H30	第二次緊急輸送道路	道路利用者への情報発信機能と過労運転等による事故防止を図るため
6	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全社会資本整備交付金)	国道444号	佐賀市	川副町	鹿江	自歩道整備 L=160m	A	A	B	I	104	公	H33	通学路	地元要望による
7	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全社会資本整備交付金)	川上牛津線	佐賀市	大和町	池上	自歩道整備 L=880m	A	A	A	I	260	公	H33	通学路	地元要望による
8	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全社会資本整備交付金)	別府牛津停車場線	小城市	牛津町	柿樋瀬	歩道整備 L=100m	B	A	A	I	125	公	H33	通学路	地元要望による
9	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全社会資本整備交付金)	薬師丸佐賀停車場線	佐賀市	兵庫町	溯	歩道整備 L=220m	A	A	A	I	52	公	H31	通学路	地元要望による
10	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全社会資本整備交付金)	佐賀八女線	神埼市	千代田町	境原	歩道整備 L=340m	A	B	A	I	300	公	H33	通学路	地元要望による
11	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全社会資本整備交付金)	坊所城島線	三養基郡	上峰町	坊所	歩道整備 L=450m	A	B	A	I	125	公	H33	通学路	地元要望による
12	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全社会資本整備交付金)	国道207号	鹿島市		重ノ木	歩道整備 L=86m	A	A	A	I	114	公	H30	通学路	地元要望による
13	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全社会資本整備交付金)	国道207号	太良町		大浦丁	歩道整備 L=80m	A	A	A	I	73	公	H30	通学路	地元要望による

# 道路事業

県土整備部 道路課

## 道路事業とは...

### 事業の目的

交通の安全性・利便性の向上とその円滑化を図ることを目的とし、快適な生活環境の確保又は地域の活力の創造に資する。

### 道路の役割

道路は、社会経済活動を支える基本的な社会資本であり、人や車に対する交通機能に加えて、上下水道や電線類などの公共公益施設を収容し、採光・通風・防災等のための空間機能を有している。

### 佐賀県の道路整備方針

- 幹線道路ネットワークの整備
  - ・広域幹線道路の整備促進
  - ・幹線道路の整備促進
- 暮らしに身近な道路の整備
  - ・歩道の設置、ユニバーサルデザイン化
  - ・生活圏内道路の整備
- 道路防災の推進
  - ・緊急輸送道路等における防災対策の推進
  - ・橋梁長寿命化修繕計画等に基づく計画的な点検や修繕の実施

## 整備系道路事業の道路改良(バイパス・現道拡幅)



3

## 整備系道路事業の歩道整備

○整備前



・交通量が多いが、歩道が設置されていないため、危険な状況

○整備後



・用地買収を行い歩道を設置

歩道整備: 歩行者等が多い道路において、歩行者等の安全かつ円滑、快適な通行の確保のため、自動車交通とは分離した歩行空間を新たに確保すること。また、交通状況の変化により、現在の利用形態に合わない狭い歩道の幅員を拡幅すること。

4

## 公共事業新規評価調書（整備系）

本部署名	県土整備部	確認者	道路課	課長	平尾 健
		作成者	東部土木事務所	所長	杉野 朗

事業区分	整備系 (生活関連事業)	事業名	地区名等	総事業費 (下段工事費)	678百万円 (652百万円)
		改築事業(1次)	一般県道 中原三瀬線 【石動工区】		

事業地			着工予定年度	完成予定年度
神 埼 郡	吉野ヶ里 町	石 動 地内	平成 29 年度	平成 33 年度

事業目的		事業計画内容		
<p>本路線は、上峰町の国道34号(切通し交差点)から吉野ヶ里町の国道385号を経由し、三瀬町の国道263号へ至る主要な幹線道路である。</p> <p>本区間は、佐賀東部中核工業団地から東脊振トンネル有料道路へ向かう物流の大型車や、沿線の工場や温泉施設への交通量が多いにもかかわらず、車道は1車線で路肩の幅員も狭いため、車両の離合困難と、沿線住民や学童の歩行者や自転車が危険な状況にさらされている。</p> <p>このため、車道部の拡幅と片側の歩道を整備し、車両の円滑な交通と自転車・歩行者の安全を図るものである。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業区間延長 L = 960 m</li> <li>○ 道路規格 第 3 種 第 3 級</li> <li>○ 道路幅員 W = 6.00 (11.50) m</li> <li>歩道幅員 W = 3.50 m [片側]</li> <li>路肩幅員 歩道側 W = 0.75 m</li> <li>〃 路肩側 W = 1.25 m</li> </ul>		

評価の視点	評価内容	評価
(1) 位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各部の施策に関する方針等 くらしに身近な道路の整備 10 点</li> <li>○ 中長期道路整備計画 中長期道路整備計画で位置づけされた道路 50 点 ※ 活力ある地域を育む道づくり</li> <li>○ 緊急輸送道路又は観光ルート: 観光地と主要幹線道路を結ぶ道路 20 点 ※ 道の駅さざんか千坊館、さざんかの湯</li> <li>○ プロジェクト等: 地域プロジェクト 10 点 ※ 五ヶ山ダム地域振興策、有料道路関連</li> </ul>	A (90点)
(2) 必要性・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 交通量：(自動車交通量) 6,077台/日 [ 4,000~10,000台/日未満 ] 40 点</li> <li>● 中山間地域補正：(異常気象時等加点) 0 点</li> <li>○ 交通量： ※60点上限適用無 40 点</li> <li>○ 交通事故：(事故指標) 46件/億台キロ [ 20~50件/億台キロ ] 10 点</li> <li>○ 構造上の課題： 道路構造令、道路橋示方書等の基準から大きく逸脱しており、危険である 20 点 ※ 幅員狭小</li> </ul>	B (70点)
(3) 実施環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地元状況：(沿線住民の合意) 計画に対して協力的で、概ね地元の同意が得られている 50 点 ※ 地権者全員からの署名入り要望書が提出されている。</li> <li>○ 既成会、協議会の状況： 既成会、協議会が設置されるなど計画に対して熱心 で、地元に対しての取り組みは積極的である 40 点 ※ 期成会があり、要望書が提出されており協力的である</li> </ul>	A (90点)

評価	A B A	条件等
判断	I	
	○優先的に事業を実施	

## 定性評価調書

### ○ 自然環境保全

内 容
○ 自然環境保全に配慮し、道路線形は極力現道を利用した法線とする。

※ 動植物の保護、農地の保全、山地・山間地の保全、水辺環境の保全等に配慮している事項について、工法、対策、留意事項を記載

### ○ 生活環境対策

内 容
○ 大気汚染について、配慮している事項(排ガス対策型機械の使用)
○ リサイクルに配慮している事項(建設副産物の適正処理、再生材の使用)

※ 大気・水・土壌・地盤環境の保全、リサイクル、文化財、バリアフリー、周辺土地利用状況等に配慮する事項について、工法、対策、留意事項を記載

### ○ コスト縮減策

内 容
○ 現場発生材やクラッシャーラン等再生材の有効利用
○ コンクリート二次製品の有効利用による工期の縮減

※ 再生材・発生材の使用等、具体的なコスト縮減策を記載

### ○ 特記事項

内 容

※ 特に記述することがあれば記載

## 公共事業新規評価調書(整備系)

本部署名	県土整備部	確認者	道路課	課長	平尾 健
		作成者	唐津土木事務所	所長	松本 尚樹

事業区分	整備系 (生活関連事業)	事業名	地区名等	総事業費 (下段工事費)	832百万円 (800百万円)
		改築事業(1次)	一般国道 204号 【屋形石工区】		

事業地			着工予定年度	完成予定年度
唐津市	屋形石	地内	平成29年度	平成33年度

事業目的	事業計画内容
<p>○一般国道204号は、玄界灘に面する唐津市を起点とし、東松浦半島を循環し、伊万里市を経て長崎県佐世保市に至る幹線道路であり、第一次緊急輸送道路にも指定されている。</p> <p>計画区間では局部的に道路幅員が狭く、大型車同士の離合が困難な状況であり、また線形も不良で車輛交通に非常に危険を伴う状況にある。</p> <p>このため交通の円滑化、及び安全性向上を目的として、当該区間の道路改良を実施する。</p>	<p>○事業区間延長 L= 323 m</p> <p>○道路規格 第3種第3級</p> <p>○道路幅員 W= 6.00 (10.00) m</p> <p>歩道幅員 W= 2.50 m [片側]</p> <p>路肩幅員 歩道側 W= 0.75 m</p> <p>〃 路肩側 W= 0.75 m</p>

評価の視点	評価内容	評価
(1) 位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各部の施策に関する方針等 くらしに身近な道路の整備 10点</li> <li>○ 中長期道路整備計画 中長期道路整備計画で位置づけされた道路 ※ 交流を支える道づくり 50点</li> <li>○ 緊急輸送道路又は観光ルート: 緊急輸送道路 20点 ※ 第一次緊急輸送道路</li> <li>○ プロジェクト等: 0点</li> <li>※</li> </ul>	A (80点)
(2) 必要性・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 交通量:(自動車交通量) 4,572台/日 [4,000~10,000台/日未満] 40点</li> <li>● 中山間地域補正:(異常気象時等加点) 0点</li> <li>○ 交通量: ※60点上限適用無 40点</li> <li>○ 交通事故:(事故指標) 0件/億台キロ [~20件/億台キロ未満] 0点</li> <li>○ 構造上の課題: 道路構造令、道路橋示方書等の基準から大きく逸脱しており、危険である 20点 ※ 幅員狭小</li> </ul>	B (60点)
(3) 実施環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地元状況:(沿線住民の合意) 計画に対して協力的である 40点</li> <li>※ 地元唐津市からの要望書</li> <li>○ 既成会、協議会の状況: 既成会、協議会が設置されるなど計画に対して熱心 で、地元に対しての取り組みは積極的である 40点 ※ R204号期成会</li> </ul>	A (80点)

評価	A B A	条件等
判断	I	
	○優先的に事業を実施	

## 定性評価調書

### ○ 自然環境保全

内 容
○ 自然環境保全に配慮し、道路線形は極力現道を利用した法線とする。

※ 動植物の保護、農地の保全、山地・山間地の保全、水辺環境の保全等に配慮している事項について、工法、対策、留意事項を記載

### ○ 生活環境対策

内 容
○ 大気汚染について、配慮している事項(排ガス対策型機械の使用)
○ リサイクルに配慮している事項(建設副産物の適正処理、再生材の使用)

※ 大気・水・土壌・地盤環境の保全、リサイクル、文化財、バリアフリー、周辺土地利用状況等に配慮する事項について、工法、対策、留意事項を記載

### ○ コスト縮減策

内 容
○ 現場発生材やクラッシャーラン等再生材の有効利用
○ コンクリート二次製品の有効利用による工期の縮減

※ 再生材・発生材の使用等、具体的なコスト縮減策を記載

### ○ 特記事項

内 容

※ 特に記述することがあれば記載



公共事業新規評価調書（整備系）

本部名 部名	県土整備部	確認者	道路課	課長	平尾 健
		作成者	杵藤土木事務所	所長	前田 常明

事業 区分	整備系  (生活関連事業)	事業名	地区名等	総事業費  (下段工事費)	541百万円  (520百万円)
		交通安全事業 (交差点改良)	一般国道 498号 【北方工区】		

事業地			着工予定年度	完成予定年度
武雄市	北方町	大崎地内	平成29年度	平成34年度

事業目的	事業計画内容
○当該路線は、供用中の松浦バイパス・大坪バイパス（伊万里市）、事業中の若木バイパスと一体となって、重要港湾伊万里港へのアクセス強化に基づく物流効率化とともに、九州横断自動車道と西九州自動車道の連結性を高める幹線道路である。当事業区間は、国道34号との交差点部とそのとりつけ区間の整備を行い、慢性的な渋滞解消を図るものである。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業区間延長 L= 380 m</li> <li>○ 道路規格 第3種第2級</li> <li>○ 道路幅員 W= 6.50 (15.00) m</li> <li>歩道幅員 W= 3.50 m [両側]</li> <li>路肩幅員 W= 0.75 m</li> </ul>

評価の視点	評価内容	評価
(1) 位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各部の施策に関する方針等 くらしに身近な道路の整備 10点</li> <li>○ 点検計画： 渋滞対策プログラムの渋滞箇所 50点 ※ 主要渋滞箇所（一般国道34号）</li> <li>○ 緊急輸送道路又は観光ルート： 緊急輸送道路 20点 ※ 第1次緊急輸送道路</li> <li>○ プロジェクト等： ※ 0点</li> </ul>	A (80点)
(2) 必要性・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 交通量：（自動車交通量） 9,078台/日 [ 4,000～10,000台/日未満 ] 40点</li> <li>○ 渋滞長： 320m [ 渋滞長 200m以上 ] 20点</li> <li>○ 交差点形状： 右折レーンなし 20点</li> </ul>	A (80点)
(3) 実施環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地元状況：（沿線住民の合意） 計画に対して協力的である 40点 ※ 国道498号期成会で計画に対して要望が強い</li> <li>○ 集落施設、沿道土地利用：渋滞が著しい区間 渋滞ポイントとして位置づけられている箇所を 含む区間及び同等の渋滞が発生している区間 40点</li> </ul>	A (80点)

評価	A A A	条件等
判断	I	
	○優先的に事業を実施	

## 定性評価調書

### ○ 自然環境保全

内 容
○ 自然環境保全に配慮し,道路計画を行う。

※ 動植物の保護、農地の保全、山地・山間地の保全、水辺環境の保全等に配慮している事項について、工法、対策、留意事項を記載

### ○ 生活環境対策

内 容
○ 大気汚染について、配慮している事項(排ガス対策型機械の使用)
○ リサイクルに配慮している事項(建設副産物の適正処理、再生材の使用)

※ 大気・水・土壌・地盤環境の保全、リサイクル、文化財、バリアフリー、周辺土地利用状況等に配慮する事項について、工法、対策、留意事項を記載

### ○ コスト縮減策

内 容
○ 現場発生材やクラッシャーラン等再生材の有効利用
○ コンクリート二次製品の有効利用による工期の縮減

※ 再生材・発生材の使用等、具体的なコスト縮減策を記載

### ○ 特記事項

内 容

※ 特に記述することがあれば記載

## 公共事業新規評価調書(整備系)

本部名 部名	県土整備部	確認者	道路課	課長	平尾 健
		作成者	有明海沿岸道路整備事務所	所長	南里 勝
事業 区分	整備系 (生活関連事業)	事業名	地区名等	総事業費 (下段工事費)	1,040百万円 (1,000百万円)
		交通安全事業	一般国道 207号 【嘉瀬工区】		
事業地			着工予定年度	完成予定年度	
佐賀市 嘉瀬町 扇町 地内			平成29年度	平成34年度	
事業目的			事業計画内容		
<p>○当該路線は、佐賀市西部地区及び隣接する小城市から、佐賀市中心部に向かう交通が利用するとともに、鹿島市・白石町などの佐賀県南西部市町と広域生活圏中心都市である佐賀市を連絡する幹線道路としての機能も有している。</p> <p>当工区についても、佐賀市内へ向かう通勤・通学者の通行が多い区間であり、小学校の通学路ともなっている。</p> <p>しかしながら、既設歩道が狭いため歩行者と自転車が輻輳するなど危険な状況であるため、今回整備を行うものである。</p> <p>また、平成28年から事業化している国道208号佐賀道路の整備により、当工区に新規のICが設置され自動車交通量が増加することも今回整備を行う理由である。</p>			<p>○ 事業区間延長 L= 400 m</p> <p>○ 道路規格 第3種第2級</p> <p>○ 道路幅員 W= 6.50 (15.00) m</p> <p>歩道幅員 W= 3.50 m [両側]</p> <p>路肩幅員 W= 0.75 m</p>		
評価の視点	評価内容				評価
(1) 位置づけ	<p>○ 各部の施策に関する方針等 くらしに身近な道路の整備 10点</p> <p>○ 点検計画: 通学路 50点 ※ 嘉瀬小学校通学路</p> <p>○ 緊急輸送道路又は観光ルート: 緊急輸送道路 20点 ※ 第1次緊急輸送道路</p> <p>○ プロジェクト等: 主要プロジェクト関連又は佐賀空港アクセス道路 20点 ※ 佐賀空港アクセス道路である佐賀道路関連</p>				A (100点)
(2) 必要性・効果	<p>○ 交通量：(自転車歩行者交通量) 929人台/日 [100人台/日以上～ ] 60点</p> <p>○ 交通事故：(近年(3ヶ年)の事故件数) 19件 [10件以上～ ] 20点</p> <p>○ 歩道の状況： 1.0～2.0m未満 10点</p> <p>※ 両側1.0～2.0m→両側3.5m</p>				A (90点)
(3) 実施環境	<p>○ 地元状況：(沿線住民の合意) 計画に対して課題があるが、概ね協力的である 20点 ※ 佐賀道路の都市計画決定で計画については理解されていると思われるが、今後、個々の調整が必要と思われる。</p> <p>○ 集落施設、沿道土地利用： 下記の沿道施設が3以上存在する 40点 ① 小学校 ② 病院 ③ 集会場 施設名 [嘉瀬小学校] [好生館] [嘉瀬公民館]</p>				B (60点)
評価	A A B	条件等			
判断	I				
	○優先的に事業を実施				

## 定性評価調書

### ○ 自然環境保全

内 容
○ 自然環境保全に配慮し、道路線形は極力現道を利用した法線とする。

※ 動植物の保護、農地の保全、山地・山間地の保全、水辺環境の保全等に配慮している事項について、工法、対策、留意事項を記載

### ○ 生活環境対策

内 容
○ 大気汚染について、配慮している事項(排ガス対策型機械の使用)
○ リサイクルに配慮している事項(建設副産物の適正処理、再生材の使用)

※ 大気・水・土壌・地盤環境の保全、リサイクル、文化財、バリアフリー、周辺土地利用状況等に配慮する事項について、工法、対策、留意事項を記載

### ○ コスト縮減策

内 容
○ 現場発生材やクラッシャーラン等再生材の有効利用
○ コンクリート二次製品の有効利用による工期の縮減

※ 再生材・発生材の使用等、具体的なコスト縮減策を記載

### ○ 特記事項

内 容

※ 特に記述することがあれば記載

## 公共事業新規評価調書(整備系)

本部署名	県土整備部	確認者	道路課	課長	平尾 健
		作成者	有明海沿岸道路整備事務所	所長	南里 勝

事業区分	整備系 (生活関連事業)	事業名	地区名等	総事業費 (下段工事費)	260百万円 (250百万円)
		改築事業(1次)	主要地方道 武雄福富線 【白石工区】		

事業地			着工予定年度	完成予定年度
杵島郡	白石町	福富地内	平成29年度	平成30年度

事業目的	事業計画内容
本箇所は、有明海沿岸道路の福富ICのランプ部に隣接し、白石町の観光振興のために設置される地域振興施設が「道の駅」の登録を受け、一体型として簡易パーキング(休憩施設)の整備を行うことで道路利用者への情報発信機能と過労運転等による事故防止を図る。	(仮)道の駅しろいし整備 A=8,900㎡ 簡易パーキング整備 A=4,200㎡ (佐賀県整備) ・駐車場整備 A=2,900㎡ (駐車ます N=51台)  ・トイレ整備 N=21基

評価の視点	評価内容	評価
(1) 位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各部の施策に関する方針等 くらしに身近な道路の整備 10点</li> <li>○ 中長期道路整備計画 中長期道路整備計画で位置づけされた道路 50点 ※【基本方針3】活力のある地域を育む道づくり</li> <li>○ 緊急輸送道路又は観光ルート: 緊急輸送道路 20点 ※ 第二次緊急輸送道路</li> <li>○ プロジェクト等: 0点 ※</li> </ul>	A (80点)
(2) 必要性・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 交通量:(自動車交通量) 9,585台/日 [4,000~10,000台/日未満] 40点</li> <li>● 中山間地域補正:(異常気象時等加点) 0点</li> <li>○ 交通量: ※60点上限適用無 40点</li> <li>○ 交通事故:(事故指標) 149件/億台キロ [50件/億台キロ~] 20点</li> <li>○ 構造上の課題: 道路構造令、道路橋示方書等の基準から大きく逸脱しており、危険である 20点 ※ 幅員狭小</li> </ul>	A (80点)
(3) 実施環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地元状況:(沿線住民の合意) 計画に対して協力的で、概ね地元の同意が得られている 50点 ※ 地権者から概ね同意を得ている。</li> <li>○ 既成会、協議会の状況: 既成会等の組織はないが、計画に対して協力的である 10点 ※ 白石町まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付けられている</li> </ul>	B (60点)

評価	A A B	条件等
判断	I	
	○優先的に事業を実施	

## 定性評価調書

### ○ 自然環境保全

内 容
○ 自然環境に配慮し、施設計画を行う。

※ 動植物の保護、農地の保全、山地・山間地の保全、水辺環境の保全等に配慮している事項について、工法、対策、留意事項を記載

### ○ 生活環境対策

内 容
○ 大気汚染について、配慮している事項(排ガス対策型機械の使用)
○ リサイクルに配慮している事項(建設副産物の適正処理、再生材の使用)

※ 大気・水・土壌・地盤環境の保全、リサイクル、文化財、バリアフリー、周辺土地利用状況等に配慮する事項について、工法、対策、留意事項を記載

### ○ コスト縮減策

内 容
○ 現場発生材やクラッシャーラン等再生材の有効利用
○ コンクリート二次製品の有効利用による工期の縮減

※ 再生材・発生材の使用等、具体的なコスト縮減策を記載

### ○ 特記事項

内 容

※ 特に記述することがあれば記載

## 公共事業新規評価調書(整備系)

本部名 部名	県土整備部	確認者	道路課	課長	平尾 健
		作成者	佐賀土木事務所	所長	田崎 茂樹
事業 区分	整備系 (生活関連事業)	事業名	地区名等	総事業費 (下段工事費)	104百万円 (100百万円)
		交通安全事業	一般国道 444号 【鹿江工区】		
事業地			着工予定年度	完成予定年度	
佐賀市 川添町 鹿江 地内			平成29年度	平成33年度	
事業目的			事業計画内容		
<p>本路線は長崎県大村市を起点とし、佐賀市に至る重要な幹線道路である。</p> <p>当該箇所は、通学路となっているが、一部が寸断した狭小な歩道で、通勤通学時間は歩行者、自転車利用者と車両が輻輳し、大変危険な状況となっている。当該箇所の歩道を設置することで歩行者、自転車利用者の安全を確保するものである。</p>			<p>○ 事業区間延長 L= 160 m</p> <p>○ 道路規格 第3種第2級</p> <p>○ 道路幅員 W= 6.50 (11.50) m</p> <p>歩道幅員 W= 3.00 m [片側]</p> <p>路肩幅員 歩道側 W= 0.75 m</p> <p>〃 路肩側 W= 1.25 m</p>		
評価の視点	評価内容				評価
(1) 位置づけ	<p>○ 各部の施策に関する方針等 くらしに身近な道路の整備 10点</p> <p>○ 点検計画: 通学路 50点 ※ 佐賀市立南川副小学校</p> <p>○ 緊急輸送道路又は観光ルート: 観光地と主要幹線道路を結ぶ道路 20点 ※ 三重津海軍所跡、佐野常民記念館、昇開橋</p> <p>○ プロジェクト等: 0点</p> <p>※</p>				A (80点)
(2) 必要性・効果	<p>○ 交通量 : (自転車歩行者交通量) 541人台/日 [100人台/日以上~ ] 60点</p> <p>○ 交通事故 : (近年(3ヶ年)の事故件数) 2件 [~3件以下 ] 5点</p> <p>○ 歩道の状況 : 歩道無し、段差勾配要改善 20点</p> <p>※ 歩道無し</p>				A (85点)
(3) 実施環境	<p>○ 地元状況 : (沿線住民の合意) 計画に対して課題があるが、概ね協力的である 20点</p> <p>※ 地元自治会から要望書有(H26.8.12)</p> <p>○ 集落施設、沿道土地利用: 下記の沿道施設が3以上存在する 40点</p> <p>① 小学校 ② 中学校 ③ 市役所 施設名 [南川副小学校] [川副中学校] [佐賀市川副支所]</p>				B (60点)
評価	A A B	条件等			
判断	I				
	○優先的に事業を実施				

## 定性評価調書

### ○ 自然環境保全

内 容
○ 自然環境保全に配慮し、道路線形は極力現道を利用した法線とする。

※ 動植物の保護、農地の保全、山地・山間地の保全、水辺環境の保全等に配慮している事項について、工法、対策、留意事項を記載

### ○ 生活環境対策

内 容
○ 大気汚染について、配慮している事項(排ガス対策型機械の使用)
○ リサイクルに配慮している事項(建設副産物の適正処理、再生材の使用)

※ 大気・水・土壌・地盤環境の保全、リサイクル、文化財、バリアフリー、周辺土地利用状況等に配慮する事項について、工法、対策、留意事項を記載

### ○ コスト縮減策

内 容
○ 現場発生材やクラッシャーラン等再生材の有効利用
○ コンクリート二次製品の有効利用による工期の縮減

※ 再生材・発生材の使用等、具体的なコスト縮減策を記載

### ○ 特記事項

内 容

※ 特に記述することがあれば記載



## 公共事業新規評価調書（整備系）

本部名 部名	県土整備部	確認者	道路課	課長	平尾 健
		作成者	佐賀土木事務所	所長	田崎 茂樹
事業 区分	整備系 (生活関連事業)	事業名	地区名等	総事業費 (下段工事費)	260百万円 (250百万円)
		交通安全事業	一般県道 川上牛津線 【池上工区】		
事業地			着工予定年度	完成予定年度	
佐賀市 大和町 久留間 地内			平成 29 年度	平成 33 年度	
事業目的			事業計画内容		
○本路線は国道323号(佐賀市大和町)と国道207号(小城市牛津町)を結ぶ重要な生活道路である。当該箇所は、川上小学校の通学路であるが、歩道が無く、朝夕は車両と輻輳し危険であるため、歩行者は並行する幹線水路の管理道路を利用している状況である。しかしながら、この管理道路は大雨の際は冠水し、歩行するには危険な状況となることから歩行者の安全を確保するため当該区間の歩道整備を行いたい。			○ 事業区間延長 L= 880 m ○ 道路規格 第 3 種 第 3 級 ○ 道路幅員 W= 6.50 (11.50) m 歩道幅員 W= 3.50 m [片側] 路肩幅員 歩道側 W= 0.75 m " 路肩側 W= 0.75 m		
評価の視点	評価内容				評価
(1) 位置づけ	○ 各部の施策に関する方針等 くらしに身近な道路の整備 10 点 ○ 点検計画: 通学路 50 点 ※ 川上小学校 ○ 緊急輸送道路又は観光ルート: 観光地と主要幹線道路を結ぶ道路 20 点 ※ 川上峡と国道207号を最短で結ぶ道路 ○ プロジェクト等: 0 点 ※				A (80点)
(2) 必要性・効果	○ 交通量 : (自転車歩行者交通量) 155人台/日 [ 100人台/日以上～ ] 60 点 ○ 交通事故 : (近年(3ヶ年)の事故件数) 1件 [ ～3件以下 ] 5 点 ○ 歩道の状況 : 歩道無し、段差勾配要改善 20 点 ※ 歩道無し→自歩道3.5m				A (85点)
(3) 実施環境	○ 地元状況 : (沿線住民の合意) 計画に対して協力的で、概ね地元の同意が得られている 50 点 ※ 地元自治会から要望書有り ○ 集落施設、沿道土地利用: 下記の沿道施設が3以上存在する 40 点 ① 小学校 ② 公共施設 ③ 集会場 施設名 [川上小学校] [川上保育園] [上戸田公民館]				A (90点)
評価	A A A	条件等			
判断	I				
	○優先的に事業を実施				

## 定性評価調書

### ○ 自然環境保全

内 容
○ 自然環境保全に配慮し、道路線形は極力現道を利用した法線とする。

※ 動植物の保護、農地の保全、山地・山間地の保全、水辺環境の保全等に配慮している事項について、工法、対策、留意事項を記載

### ○ 生活環境対策

内 容
○ 大気汚染について、配慮している事項(排ガス対策型機械の使用)
○ リサイクルに配慮している事項(建設副産物の適正処理、再生材の使用)

※ 大気・水・土壌・地盤環境の保全、リサイクル、文化財、バリアフリー、周辺土地利用状況等に配慮する事項について、工法、対策、留意事項を記載

### ○ コスト縮減策

内 容
○ 現場発生材やクラッシャーラン等再生材の有効利用
○ コンクリート二次製品の有効利用による工期の縮減

※ 再生材・発生材の使用等、具体的なコスト縮減策を記載

### ○ 特記事項

内 容

※ 特に記述することがあれば記載

## 公共事業新規評価調書（整備系）

本部署名	県土整備部	確認者	道路課	課長	平尾 健
		作成者	佐賀土木事務所	所長	田崎 茂樹

事業区分	整備系 (生活関連事業)	事業名	地区名等	総事業費 (下段工事費)	125百万円 (120百万円)
		交通安全事業	一般県道 別府牛津停車場線 【牛津駅前工区】		

事業地			着工予定年度	完成予定年度
小 城 市	牛 津 町	柿樋瀬 地内	平成 29 年度	平成 33 年度

事業目的	事業計画内容
○当該路線は多久市東多久町別府地区からJR牛津駅へ至る生活道路である。事業区間については、通学路に指定されているが、一般車両の他、産廃関連施設や製紙工場へ向かう大型車の通行も多く、歩道が設置されていないため歩行者や自転車利用者にとって大変危険な状況となっている。この区間の歩道設置を行うことにより、歩行者や自転車利用者に対する安全性の確保を図るものである。	○ 事業区間延長 L= 100 m ○ 道路規格 第 3 種 第 3 級 ○ 道路幅員 W= 4.50 (8.50) m 歩道幅員 W= 2.50 m [片側] 路肩幅員 歩道側 W= 0.75 m " 路肩側 W= 0.75 m

評価の視点	評価内容	評価
(1) 位置づけ	○ 各部の施策に関する方針等 くらしに身近な道路の整備 10 点 ○ 点検計画: 通学路 50 点 ※ 牛津小学校、牛津中学校 ○ 緊急輸送道路又は観光ルート: 0 点 ※ ○ プロジェクト等: 0 点 ※	B (60 点)
(2) 必要性・効果	○ 交 通 量 : (自転車歩行者交通量) 414人台/日 [ 100人台/日以上~ ] 60 点 ○ 交 通 事 故 : (近年(3ヶ年)の事故件数) 0件 [ 0件 ] 0 点 ○ 歩 道 の 状 況 : 歩道無し、段差勾配要改善 20 点 ※ 歩道無し	A (80 点)
(3) 実施環境	○ 地 元 状 況 : (沿線住民の合意) 計画に対して協力的である 40 点 ※ 小城市調整会議要望、地元からの同意書あり ○ 集落施設、沿道土地利用: 下記の沿道施設が3以上存在する 40 点 ① 駅・公園等 ② 中学校 ③ 高校 施設名 [牛津駅] [牛津中学校] [牛津高校]	A (80 点)

評価	B A A	条件等
判断	I	
		○優先的に事業を実施

## 定性評価調書

## ○ 自然環境保全

内 容
○ 自然環境保全に配慮し、道路線形は極力現道を利用した法線とする。

※ 動植物の保護、農地の保全、山地・山間地の保全、水辺環境の保全等に配慮している事項について、工法、対策、留意事項を記載

## ○ 生活環境対策

内 容
○ 大気汚染について、配慮している事項(排ガス対策型機械の使用)
○ リサイクルに配慮している事項(建設副産物の適正処理、再生材の使用)

※ 大気・水・土壌・地盤環境の保全、リサイクル、文化財、バリアフリー、周辺土地利用状況等に配慮する事項について、工法、対策、留意事項を記載

## ○ コスト縮減策

内 容
○ 現場発生材やクラッシャーラン等再生材の有効利用
○ コンクリート二次製品の有効利用による工期の縮減

※ 再生材・発生材の使用等、具体的なコスト縮減策を記載

## ○ 特記事項

内 容

※ 特に記述することがあれば記載

## 公共事業新規評価調書（整備系）

本部名 部名	県土整備部	確認者	道路課	課長	平尾 健
		作成者	佐賀土木事務所	所長	田崎 茂樹
事業 区分	整備系 (生活関連事業)	事業名	地区名等 一般県道 薬師丸佐賀停車場線 【下湊工区】	総事業費 (下段工事費)	52百万円 (50百万円)
		交通安全事業			
事業地				着工予定年度	完成予定年度
佐賀市 兵庫町 湊 地内				平成 29 年度	平成 31 年度
事業目的			事業計画内容		
<p>本路線は、主要地方道佐賀外環状線から国道34号を經由し、佐賀市街地を結ぶ重要な路線である。朝夕の交通量は多く、北部には久保泉工業団地があるため、大型車の交通量も多い状況である。当該箇所は東側に歩道があるものの、過去には起点の市営住宅付近で車道横断中の交通死亡事故も発生し、また、西側の開発も進んでいる状況で、通勤通学時間帯は歩行者、自転車利用者と車両が輻輳し、大変危険な状況となっている。このことから、歩行者、自転車利用者の安全を確保するため西側歩道の設置を行うものである。</p>			<p>○ 事業区間延長 L= 220 m ○ 道路規格 第 3 種 第 2 級 ○ 道路幅員 W= 6.50 (13.00) m 歩道幅員 W= 2.50 m [両側] 路肩幅員 W= 0.75 m</p> <p>※片側歩道有り</p>		
評価の視点	評価内容				評価
(1) 位置づけ	<p>○ 各部の施策に関する方針等 くらしに身近な道路の整備 10 点</p> <p>○ 点検計画: 通学路 50 点 ※ 兵庫小学校</p> <p>○ 緊急輸送道路又は観光ルート: 観光地と主要幹線道路を結ぶ道路 20 点 ※ 金立公園、徐福の里コスモス園</p> <p>○ プロジェクト等: 地域プロジェクト 10 点 ※ 久保泉工業団地</p>				A (90 点)
(2) 必要性・効果	<p>○ 交通量：(自転車歩行者交通量) 216人台/日 [ 100人台/日以上～ ] 60 点</p> <p>○ 交通事故：(近年(3ヶ年)の事故件数) 4件 [ 4～6件以下 ] 10 点</p> <p>○ 歩道の状況： 歩道無し、段差勾配要改善 20 点 ※ 片側歩道有り</p>				A (90 点)
(3) 実施環境	<p>○ 地元状況：(沿線住民の合意) 計画に対して協力的で、概ね地元の同意が得られている 50 点 ※ 地元自治会から要望書有り</p> <p>○ 集落施設、沿道土地利用： 下記の沿道施設が3以上存在する 40 点 ① 公共施設 ② 病院 ③ バス路線 施設名 [市営兵庫団地] [うえむら病院] [市営バス]</p>				A (90 点)
評価	A A A	条件等			
判断	I				
	○優先的に事業を実施				

## 定性評価調書

### ○ 自然環境保全

内 容
○ 自然環境保全に配慮し、道路線形は極力現道を利用した法線とする。

※ 動植物の保護、農地の保全、山地・山間地の保全、水辺環境の保全等に配慮している事項について、工法、対策、留意事項を記載

### ○ 生活環境対策

内 容
○ 大気汚染について、配慮している事項(排ガス対策型機械の使用)
○ リサイクルに配慮している事項(建設副産物の適正処理、再生材の使用)

※ 大気・水・土壌・地盤環境の保全、リサイクル、文化財、バリアフリー、周辺土地利用状況等に配慮する事項について、工法、対策、留意事項を記載

### ○ コスト縮減策

内 容
○ 現場発生材やクラッシャーラン等再生材の有効利用
○ コンクリート二次製品の有効利用による工期の縮減

※ 再生材・発生材の使用等、具体的なコスト縮減策を記載

### ○ 特記事項

内 容

※ 特に記述することがあれば記載

## 公共事業新規評価調書(整備系)

本部名 部名	県土整備部	確認者	道路課	課長	平尾 健
		作成者	東部土木事務所	所長	杉野 朗
事業 区分	整備系 (生活関連事業)	事業名	地区名等	総事業費 (下段工事費)	300百万円 (288百万円)
		交通安全事業	主要地方道 佐賀八女線 【境原工区】		
事業地			着工予定年度	完成予定年度	
神 埼 市 千代田 町 境原 地内			平成 29 年度	平成 33 年度	
事業目的			事業計画内容		
<p>当該路線は佐賀市を起点として、神崎市を経て、福岡県八女市に至る広域交流、物流の促進、沿線市町の連携強化を図る幹線道路である。</p> <p>当該箇所は、沿線に病院や福祉施設があり、また、通学路にも指定されているものの、歩道が寸断されている状況となっており、特に朝夕の交通量が多い通学時間帯は、歩行者、自転車利用者と車両が輻輳し、大変危険な状況である。</p> <p>このため、歩道未設置区間の解消を図り、歩行者、自転車利用者の安全を図るものである。</p>			<p>○ 事業区間延長 L= 340 m</p> <p>○ 道路規格 第 3 種 第 2 級</p> <p>○ 道路幅員 W= 6.50 (15.00) m</p> <p>歩道幅員 W= 3.50 m [両側]</p> <p>路肩幅員 W= 0.75 m</p>		
評価の視点	評価内容				評価
(1) 位置づけ	<p>○ 各部の施策に関する方針等 くらしに身近な道路の整備 10 点</p> <p>○ 点検計画: 通学路 50 点 ※ 千代田西部小学校</p> <p>○ 緊急輸送道路又は観光ルート: 観光地と主要幹線道路を結ぶ道路 20 点 ※ 下村湖人生家と国道264号を結ぶ道路</p> <p>○ プロジェクト等: 0 点</p> <p>※</p>				A (80点)
(2) 必要性・効果	<p>○ 交 通 量 : (自転車歩行者交通量) 165人台/日 [ 100人台/日以上～ ] 60 点</p> <p>○ 交 通 事 故 : (近年(3ヶ年)の事故件数) 2件 [ ～3件以下 ] 5 点</p> <p>○ 歩 道 の 状 況 : 1.0～2.0m未満 10 点</p> <p>※ 片側1.0～2.0m→両側3.5m</p>				B (75点)
(3) 実施環境	<p>○ 地 元 状 況 : (沿線住民の合意) 計画に対して協力的で、概ね地元の同意が得られている 50 点 ※ 地元要望書有り(H27.2.25)</p> <p>○ 集落施設、沿道土地利用: 下記の沿道施設が3以上存在する 40 点</p> <p>① 病院 ② 福祉施設 ③ 小学校 施設名 [古賀内科] [多機能ホーム神埼] [千代田西部小学校]</p>				A (90点)
評価	A B A	条件等			
判断	I				
	○優先的に事業を実施				

## 定性評価調書

### ○ 自然環境保全

内 容
○ 自然環境保全に配慮し、道路線形は極力現道を利用した法線とする。

※ 動植物の保護、農地の保全、山地・山間地の保全、水辺環境の保全等に配慮している事項について、工法、対策、留意事項を記載

### ○ 生活環境対策

内 容
○ 大気汚染について、配慮している事項(排ガス対策型機械の使用)
○ リサイクルに配慮している事項(建設副産物の適正処理、再生材の使用)

※ 大気・水・土壌・地盤環境の保全、リサイクル、文化財、バリアフリー、周辺土地利用状況等に配慮する事項について、工法、対策、留意事項を記載

### ○ コスト縮減策

内 容
○ 現場発生材やクラッシャーラン等再生材の有効利用
○ コンクリート二次製品の有効利用による工期の縮減

※ 再生材・発生材の使用等、具体的なコスト縮減策を記載

### ○ 特記事項

内 容

※ 特に記述することがあれば記載



## 公共事業新規評価調書(整備系)

本部署名	県土整備部	確認者	道路課	課長	平尾 健
		作成者	東部土木事務所	所長	杉野 朗
事業区分	整備系 (生活関連事業)	事業名	地区名等 一般県道 坊所城島線 【坊所工区】	総事業費	125百万円
		交通安全事業		(下段工事費)	(120百万円)
事業地			着工予定年度	完成予定年度	
三養基郡 上峰町 坊所 地内			平成 29 年度	平成 33 年度	
事業目的			事業計画内容		
○当該路線は国道34号(三養基郡みやき町)と久留米市を結ぶ幹線道路であり、大型車の通行も多い。当該箇所は通学路に指定されているが、東側のみ歩道が設置されており、西側歩道は分断されている。近年は西側の宅地開発も進み、歩行者も増加しているが、西側の歩道が無いために交通量が多い通学時間帯において無信号交差点での横断を余儀なくされ、危険な状況となっている。このことから歩道未設置箇所を解消し、歩道の連続性を確保することで歩行者、自転車利用者の危険性の解消を図るものである。			○ 事業区間延長 L= 450 m ○ 道路規格 第 3 種 第 3 級 ○ 道路幅員 W= 6.00 (12.00) m 歩道幅員 W= 2.50 m [両側] 路肩幅員 W= 0.50 m		
評価の視点	評価内容				評価
(1) 位置づけ	○ 各部の施策に関する方針等 くらしに身近な道路の整備 10 点 ○ 点検計画: 通学路 50 点 ※ 上峰小学校通学路 ○ 緊急輸送道路又は観光ルート: 緊急輸送道路 20 点 ※ 第二次緊急輸送道路 ○ プロジェクト等: 0 点 ※				A (80 点)
(2) 必要性・効果	○ 交通量 : (自転車歩行者交通量) 90人台/日 [ 40~100人台/日未満 ] 30 点 ○ 交通事故 : (近年(3ヶ年)の事故件数) 17件 [ 10件以上~ ] 20 点 ○ 歩道の状況 : 1.0~2.0m未満 10 点 ※ 片側→両側				B (60 点)
(3) 実施環境	○ 地元状況 : (沿線住民の合意) 計画に対して協力的で、概ね地元の同意が得られている 50 点 ※ 地元自治会から要望書有り(H26.4.30) ○ 集落施設、沿道土地利用: 下記の沿道施設が3以上存在する 40 点 ① 小学校 ② 中学校 ③ バス路線 施設名 [上峰小学校] [上峰中学校] [上峰町役場]				A (90 点)
評価	A B A	条件等			
判断	I				
	○優先的に事業を実施				

## 定性評価調書

## ○ 自然環境保全

内 容
○ 自然環境保全に配慮し、道路線形は極力現道を利用した法線とする。

※ 動植物の保護、農地の保全、山地・山間地の保全、水辺環境の保全等に配慮している事項について、工法、対策、留意事項を記載

## ○ 生活環境対策

内 容
○ 大気汚染について、配慮している事項(排ガス対策型機械の使用)
○ リサイクルに配慮している事項(建設副産物の適正処理、再生材の使用)

※ 大気・水・土壌・地盤環境の保全、リサイクル、文化財、バリアフリー、周辺土地利用状況等に配慮する事項について、工法、対策、留意事項を記載

## ○ コスト縮減策

内 容
○ 現場発生材やクラッシャーラン等再生材の有効利用
○ コンクリート二次製品の有効利用による工期の縮減

※ 再生材・発生材の使用等、具体的なコスト縮減策を記載

## ○ 特記事項

内 容
○ ・西側に小学校・中学校・役場等の公共施設が立地している。 ・要望区間(西側)において、宅地開発が進んでいる。 ・道路改良に伴って、大型車交通量が増加しており、道路の横断が困難な状況である。

※ 特に記述することがあれば記載

## 公共事業新規評価調書（整備系）

本部署名	県土整備部	確認者	道路課	課長	平尾 健
		作成者	杵藤土木事務所	所長	前田 常明
事業区分	整備系 (生活関連事業)	事業名	地区名等 一般国道 207号 【重ノ木工区】	総事業費 (下段工事費)	114百万円 (110百万円)
		交通安全事業			
事業地			着工予定年度	完成予定年度	
鹿島市		重ノ木	地内	平成29年度	平成30年度
事業目的			事業計画内容		
○当路線は佐賀市を起点とし、鹿島市の中心市街地を經由して長崎県西彼杵郡時津町へと結ぶ重要な幹線道路である。当該路線は明倫小学校の通学路となっているが、歩道が設置されていないため朝夕の通勤・通学時には歩行者と通行車両が輻輳し、大変危険な状態であり、通学路の緊急合同点検(H24)においても対策必要箇所となっている。このため、歩道を設置し、通学児童生徒の安全を確保するものである。			○ 事業区間延長 L= 86 m ○ 道路規格 第3種第3級 ○ 道路幅員 W= 6.00 (9.50) m 歩道幅員 W= 2.00 m [片側] 路肩幅員 歩道側 W= 0.75 m " 路肩側 W= 0.75 m		
評価の視点	評価内容				評価
(1) 位置づけ	○ 各部の施策に関する方針等 くらしに身近な道路の整備 10点 ○ 点検計画: 通学路 50点 ※ 明倫小学校 ○ 緊急輸送道路又は観光ルート: 緊急輸送道路 20点 ※ 第一次緊急輸送道路 ○ プロジェクト等: 0点 ※				A (80点)
(2) 必要性・効果	○ 交通量：(自転車歩行者交通量) 210人台/日 [100人台/日以上～ ] 60点 ○ 交通事故：(近年(3ヶ年)の事故件数) 2件 [～3件以下 ] 5点 ○ 歩道の状況： 歩道無し、段差勾配要改善 20点 ※ 歩道無し→歩道2.0m				A (85点)
(3) 実施環境	○ 地元状況：(沿線住民の合意) 計画に対して協力的で、用地買収のための調整が図られている 60点 ※ 地元自治会から要望書有り ○ 集落施設、沿道土地利用： 下記の沿道施設が3以上存在する 40点 ① 病院 ② 公共施設 ③ バス路線 施設名 [森田医院] [鹿島保育園] [祐徳バス]				A (100点)
評価	A A A	条件等			
判断	I				
	○優先的に事業を実施				

## 定性評価調書

### ○ 自然環境保全

内 容
○ 自然環境保全に配慮し、道路線形は極力現道を利用した法線とする。

※ 動植物の保護、農地の保全、山地・山間地の保全、水辺環境の保全等に配慮している事項について、工法、対策、留意事項を記載

### ○ 生活環境対策

内 容
○ 大気汚染について、配慮している事項(排ガス対策型機械の使用)
○ リサイクルに配慮している事項(建設副産物の適正処理、再生材の使用)

※ 大気・水・土壌・地盤環境の保全、リサイクル、文化財、バリアフリー、周辺土地利用状況等に配慮する事項について、工法、対策、留意事項を記載

### ○ コスト縮減策

内 容
○ 現場発生材やクラッシャーラン等再生材の有効利用
○ コンクリート二次製品の有効利用による工期の縮減

※ 再生材・発生材の使用等、具体的なコスト縮減策を記載

### ○ 特記事項

内 容

※ 特に記述することがあれば記載

## 公共事業新規評価調書（整備系）

本部名 部名	県土整備部	確認者	道路課	課長	平尾 健
		作成者	杵藤土木事務所	所長	前田 常明
事業 区分	整備系 (生活関連事業)	事業名	地区名等	総事業費 (下段工事費)	73百万円 (70百万円)
		交通安全事業	一般国道 207号 【亀ノ浦工区】		
事業地			着工予定年度	完成予定年度	
藤津郡 太良町 大字大浦丁 地内			平成29年度	平成30年度	
事業目的			事業計画内容		
○当路線は佐賀市を起点とし、鹿島市を經由して長崎県西彼杵郡時津町へと結ぶ重要な幹線道路である。当該路線は大浦小学校や大浦中学校の通学路となっているが、一部区間で歩道が設置されていないため朝夕の通勤・通学時には歩行者と通行車両が輻輳し、大変危険な状態である。このため、歩道を設置し、通学児童生徒の安全を確保するものである。			○ 事業区間延長 L= 80 m ○ 道路規格 第3種第2級 ○ 道路幅員 W= 5.50 (11.30) m ○ 歩道幅員 W= 3.00 m [片側] ○ 路肩幅員 歩道側 W= 1.10 m " 路肩側 W= 1.70 m		
評価の視点	評価内容				評価
(1) 位置づけ	○ 各部の施策に関する方針等 くらしに身近な道路の整備 10点 ○ 点検計画: 通学路 50点 ※ 大浦小学校、大浦中学校 ○ 緊急輸送道路又は観光ルート: 緊急輸送道路 20点 ※ 第一次緊急輸送道路 ○ プロジェクト等: 0点 ※				A (80点)
(2) 必要性・効果	○ 交通量：(自転車歩行者交通量) 167人台/日 [100人台/日以上～ ] 60点 ○ 交通事故：(近年(3ヶ年)の事故件数) 6件 [4～6件以下 ] 10点 ○ 歩道の状況： 歩道無し、段差勾配要改善 20点 ※ 歩道無し→歩道3.0m				A (90点)
(3) 実施環境	○ 地元状況：(沿線住民の合意) 計画に対して協力的である 40点 ※ 地元も危険性を認識しているため ○ 集落施設、沿道土地利用： 下記の沿道施設が3以上存在する 40点 ① 小学校 ② 駅・公園等 ③ バス路線 施設名 [大浦小学校] [肥前大浦駅] [祐徳バス]				A (80点)
評価	A A A	条件等			
判断	I				
	○優先的に事業を実施				

## 定性評価調書

### ○ 自然環境保全

内 容
○ 自然環境保全に配慮し、道路線形は極力現道を利用した法線とする。

※ 動植物の保護、農地の保全、山地・山間地の保全、水辺環境の保全等に配慮している事項について、工法、対策、留意事項を記載

### ○ 生活環境対策

内 容
○ 大気汚染について、配慮している事項(排ガス対策型機械の使用)
○ リサイクルに配慮している事項(建設副産物の適正処理、再生材の使用)

※ 大気・水・土壌・地盤環境の保全、リサイクル、文化財、バリアフリー、周辺土地利用状況等に配慮する事項について、工法、対策、留意事項を記載

### ○ コスト縮減策

内 容
○ 現場発生材やクラッシャーラン等再生材の有効利用
○ コンクリート二次製品の有効利用による工期の縮減

※ 再生材・発生材の使用等、具体的なコスト縮減策を記載

### ○ 特記事項

内 容

※ 特に記述することがあれば記載

新規評価箇所検討一覧表【二次評価に至らなかったもの】

様式2

担当課 道路課

番号	種別	事業区分	事業名	箇所名等 (路河川・地区名)	施工箇所			事業概要	評価			判断	2次評価に至らなかった理由
					市町名	旧市町名	町・大字等		位置づけ	必要性・効果	実施環境		
1	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全社会資本整備交付金)	佐賀外環状線	佐賀市	川副町	南里	自歩道整備 L=930m 交差点改良 N=2箇所	-	-	C	Ⅲ	地元調整が未了のため。
2	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	佐賀川久保鳥栖線	佐賀市		高木瀬	道路改良 L=2,600m	-	-	C	Ⅲ	必要性・効果が未整理であるため。
3	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全社会資本整備交付金)	佐賀外環状線	佐賀市	大和町	尼寺	交差点改良 L=290m	-	-	C	Ⅲ	地元調整が未了のため。
4	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	川上牛津線	佐賀市	大和町	久留間	道路改良 L=500m	-	-	C	Ⅲ	地元調整が未了のため。
5	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	富士三瀬線	佐賀市	富士町	関屋	道路改良 L=850m	-	-	C	Ⅲ	局所的な改良の可能性を検討する。
6	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	前原富士線	佐賀市	富士町	上無津呂	道路改良 L=1,200m	-	-	C	Ⅲ	現在事業中の区間の整備を優先する 局所的な改良の可能性を検討する
7	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	広滝大和富士線	佐賀市	大和町	松瀬	線形改良 L=1,200m	-	-	C	Ⅲ	現在事業中の区間の整備を優先する 局所的な改良の可能性を検討する
8	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	巖木富士線	佐賀市	富士町	市川	道路改良 L=1,000m	-	-	C	Ⅲ	局所的な改良の可能性を検討する。
9	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	池原古湯線	佐賀市	富士町	貝野	道路改良 L=300m	-	-	C	Ⅲ	局所的な改良の可能性を検討する。
10	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全社会資本整備交付金)	鍋島停車場東山田線	佐賀市		鍋島	交差点改良 L=100m	-	-	C	Ⅲ	地元調整が未了のため。
11	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全社会資本整備交付金)	国道323号	佐賀市	富士町	下熊川	歩道整備 L=200m	-	-	C	Ⅲ	地元調整が未了のため。

新規評価箇所検討一覧表【二次評価に至らなかったもの】

様式2

担当課 道路課

番号	種別	事業区分	事業名	箇所名等 (路河川・地区名)	施工箇所			事業概要	評価			判断	2次評価に至らなかった理由
					市町名	旧市町名	町・大字等		位置づけ	必要性・効果	実施環境		
12	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	三瀬栗並線	佐賀市	富士町	下合瀬	線形改良 L=1000m	-	-	C	Ⅲ	地元調整が未了のため。
13	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全社会資本整備交付金)	佐賀外環状線	小城市	三日月町	金田	歩道整備 L=560m	-	-	C	Ⅲ	地元調整が未了のため。
14	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全社会資本整備交付金)	国道207号	小城市	牛津町	柿樋瀬	交差点改良 L=400m	-	-	C	Ⅲ	地元調整が未了のため。
15	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全社会資本整備交付金)	川上牛津線	小城市	三日月町	長神田	歩道整備 L=740m	-	-	C	Ⅲ	地元調整が未了のため。
16	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	杉山小城線	小城市	小城町	岩蔵	道路改良 L=450m	-	-	C	Ⅲ	地元調整が未了のため。
17	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全社会資本整備交付金)	大詫間光法停車場線	佐賀市	諸富町	山領	自歩道整備 L=500m	-	-	C	Ⅲ	地元調整が未了のため。
18	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全社会資本整備交付金)	国道444号	佐賀市	川副町	鹿江	自歩道整備 L=430m	-	-	C	Ⅲ	地元調整が未了のため。
19	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全社会資本整備交付金)	国道444号	佐賀市	川副町	小々森	自歩道整備 L=340m	-	-	C	Ⅲ	地元調整が未了のため。
20	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全社会資本整備交付金)	三瀬神埼線	神崎市	神埼町	的	歩道整備 L=660m	-	-	C	Ⅲ	地元調整が未了のため。
21	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	神埼北茂安線 (神埼・吉野ヶ里)	神崎市 吉野ヶ里町	神埼町	本堀豆田	道路改良 L=3300m	-	-	C	Ⅲ	地元調整が未了のため。
22	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	佐賀川久保鳥栖線	吉野ヶ里町		大曲	歩道整備、交差点改良 L=520m	-	-	C	Ⅲ	地元調整が未了のため。



新規評価箇所検討一覧表【二次評価に至らなかったもの】

様式2

担当課 道路課

番号	種別	事業区分	事業名	箇所名等 (路河川・地区名)	施工箇所			事業概要	評価			判断	2次評価に至らなかった理由
					市町名	旧市町名	町・大字等		位置づけ	必要性・効果	実施環境		
23	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全社会資本整備交付金)	鳥栖田代線	鳥栖市		桜町	線形改良、歩道整備 L=230m	-	-	C	Ⅲ	地元調整が未了のため。
24	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	佐賀川久保鳥栖線	鳥栖市		平田町・立石町	道路改良 L=1000m	-	-	C	Ⅲ	現在事業中の区間の整備を優先する。
25	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	中原鳥栖線	鳥栖市		儀徳町・江島町	道路改良 L=1600m	-	-	C	Ⅲ	現在事業中の区間の整備を優先する。
26	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全社会資本整備交付金)	唐津呼子線	唐津市		唐房～鎮西町岩野	L=3000m	-	-	C	Ⅲ	地元調整が未了のため。
27	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	黒川松島線	伊万里市		奥野、大黒川	道路改良 L=1,600m	-	C	-	Ⅲ	必要性・効果が未整理であるため。
28	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	国道204号	伊万里市		波多津町辻、畑津、井野尾(鶴掛峠)	道路改良 L=1,400m	-	-	C	Ⅲ	地元調整が未了のため。
29	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	国道204号	伊万里市		波多津町辻(馬蛤潟三叉路北)	歩道整備 L=1,600m	-	-	C	Ⅲ	地元調整が未了のため。
30	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	山本波多津線	伊万里市		波多津町津留、主屋	道路改良 L=1,800m	-	-	C	Ⅲ	地元調整が未了のため。
31	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	伊万里畑川内蔵木線	伊万里市		波多津町内野	道路改良 L=750m	-	-	C	Ⅲ	地元調整が未了のため。
32	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	伊万里有田線(二里)	伊万里市		二里町	道路改良 L=4,000m	-	-	C	Ⅲ	地元調整が未了のため。
33	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	八幡岳公園線	伊万里市		大川町東田代	退避所設置 L=2,220m	-	-	C	Ⅲ	地元調整が未了のため。

新規評価箇所検討一覧表【二次評価に至らなかったもの】

様式2

担当課 道路課

番号	種別	事業区分	事業名	箇所名等 (路河川・地区名)	施工箇所			事業概要	評価			判断	2次評価に至らなかった理由
					市町名	旧市町名	町・大字等		位置づけ	必要性・効果	実施環境		
34	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	伊万里松浦線	伊万里市		山代町 大久保	退避所設置 L=4,000m	-	-	C	Ⅲ	地元調整が未了のため。
35	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全社会資本整備交付金)	大木有田線	有田町		黒牟田	歩道整備 L=250m	-	-	C	Ⅲ	地元調整が未了のため。
36	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	塩屋大曲線	伊万里市		黒川町 大黒川	道路改良 L=400m	-	-	C	Ⅲ	地元調整が未了のため。
37	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	国道204号 (楠久津)	伊万里市		山代町 楠久津	道路改良 L=560m	-	-	C	Ⅲ	関係機関との調整が未了のため。
38	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	伊万里松浦線 (楠久津)	伊万里市		山代町 楠久津	道路改良 L=720m	-	-	C	Ⅲ	地元調整が未了のため。
39	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全社会資本整備交付金)	国道204号 (鳴石)	伊万里市		山代町 峰	歩道整備 L=310m	-	-	C	Ⅲ	地元調整が未了のため。
40	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全社会資本整備交付金)	多久江北線 (山口)	江北町		山口	歩道設置 L=110m	-	-	C	Ⅲ	地元調整が未了のため。
41	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全社会資本整備交付金)	武雄伊万里線 (梅の原)	武雄市	武内町	真手野	道路改良 L=1,000m	-	-	C	Ⅲ	地元調整が未了のため。
42	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全社会資本整備交付金)	梅野有田線 (馬乗場)	武雄市	山内町	宮野	道路改良 L=130m	-	-	C	Ⅲ	地元調整が未了のため。
43	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全社会資本整備交付金)	相知山内線 (茅場)	武雄市	山内町	三間坂	道路改良 L=500m	-	-	C	Ⅲ	地元調整が未了のため。
44	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全社会資本整備交付金)	国道498号 (久間)	嬉野市	塩田町	久間	道路改良 L=850m	-	-	C	Ⅲ	地元調整が未了のため。

新規評価箇所検討一覧表【二次評価に至らなかったもの】

様式2

担当課 道路課

番号	種別	事業区分	事業名	箇所名等 (路河川・地区名)	施工箇所			事業概要	評価			判断	2次評価に至らなかった理由
					市町名	旧市町名	町・大字等		位置づけ	必要性・効果	実施環境		
45	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	大村嬉野線 (清水)	嬉野市	嬉野町	岩屋川内	道路改良 L=1,100m	-	-	C	Ⅲ	地元調整が未了のため。
46	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	嬉野川棚線 (平野)	嬉野市	嬉野町	不動山	道路改良 L=760m	-	-	C	Ⅲ	地元調整が未了のため。
47	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全社会資本整備交付金)	嬉野下宿塩田線 (馬場下)	嬉野市	塩田町	馬場下	歩道設置 L=280m	-	C	-	Ⅲ	必要性・効果が未整理であるため。
48	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	国道207号 (西葉)	鹿島市		音成西葉	道路改良 L=900m	-	-	C	Ⅲ	関係機関との調整が未了のため。
49	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全社会資本整備交付金)	山浦肥前鹿島停車場 線	鹿島市		高津原横 田	道路改良 L=320m	-	-	C	Ⅲ	地元調整が未了のため。
50	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	皿屋三河内線	鹿島市		三河内中 川内	道路改良 L=900m	-	-	C	Ⅲ	地元調整が未了のため。
51	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全社会資本整備交付金)	国道207号 (山口)	江北町		山口	交差点改良	-	-	C	Ⅲ	地元調整が未了のため。
52	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全社会資本整備交付金)	武雄多久線 (馬神)	武雄市	北方町	大崎	歩道設置 L=750m	-	-	C	Ⅲ	地元調整が未了のため。
53	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全社会資本整備交付金)	武雄福富線	白石町	白石町	馬洗	交差点改良	-	-	C	Ⅲ	地元調整が未了のため。